

環境に係る情報協議会

国営環境保全型かんがい排水事業 根室地区

1. 事業の概要（案）

◆ 事業の目的

本事業では、用排水施設の整備により、適正な水利用を確保するとともに、農地の湛水被害を解消し、土地生産性の向上及び農作業の効率化による農業経営の安定を図り、地域農業の振興に資する。

併せて、本事業では、水質浄化機能等多面的な機能を有する農業用排水路の整備を行い、環境保全の推進に資する。

◆ 受益面積

5,896ha

◆ 主要工事計画

用水路 13条 L=5.1km

(肥培かんがい施設 一式)

排水路 6条 L=3km

(水質浄化施設 一式)

2. 根室市の環境に対する考え方

(根室市田園環境整備マスタープランより)

◆ 農村環境の現状と課題

《現状》

野付風蓮道立自然公園を始めとして多くの鳥獣保護区域の指定を受けており、すぐれた景観と多様な生物相など豊かな自然に恵まれている。

《課題》

貴重な環境資源を後世に引き継ぐため、各種整備事業、開発事業を行う際には、自然環境に配慮した施工を目指す必要がある。

また、家畜排せつ物等の産業廃棄物の軽量化、再利用等を促進する必要がある。

◆ 環境保全の基本的考え方

- ・世界的に貴重な野鳥の宝庫である風蓮湖、春国岱を中心とした自

然豊かな地域であり、こうした財産を後世に残さなければならないことを考慮し、各種事業を実施する。

- ・家畜排せつ物の適正処理をはじめ、農業農村整備事業全般にわたり、自然環境への配慮を行っていく。

3. 事業における環境との調和への配慮方針

◎地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、動植物の生育・生息環境や地域景観の保全に配慮した整備を行う。

◆ 水質浄化機能を有する排水施設の整備

- ・農地から排水路への土砂や窒素等の流出を抑制する土砂緩止林、排水路から河川への流出を抑制する遊水池を配置し、排水本川への負荷物質の流出を防止する。

◆ 資源循環の効率性を高める肥培かんがいの整備

- ・肥培かんがい施設の整備により家畜ふん尿の適正利用を促進し、河川等への負荷物質の流出を軽減する。

◆ 用排水施設における生態系への配慮

- ・肥培かんがい施設（配水調整池）の整備にあたっては、飛来防止ロープを設置し、水鳥の転落を防止する。
- ・排水路は土水路構造とし、現況線形を基本とする。また、既存林等の伐採を極力回避し、現況河道線形の保全を図る。

◆ 用排水ルート選定による動植物及び景観への配慮

- ・用水路（用水管路）や排水路の路線選定にあたっては既存林等の伐採を極力回避し、動植物の生息・生育環境の保全、農村景観の保全に配慮する。